

(別紙様式)

平成27年度子ども農山漁村ふるさと体験受入モデル体制整備支援交付金
企画書

三重県地域連携部地域支援課長 あて

平成 年 月 日

事業実施主体名

代表者名

印

1 事業実施主体

事業実施主体の名称	
代表者名	
受入地域協議会の 設立時期	※作成時に協議会が設立されていない場合は、設立予定時期を記載し（予定）と明記すること。
安全管理に関する マニュアル作成時期	※作成時にマニュアルが作成されていない場合は、作成予定時期を記載し（予定）と明記すること。
受入地域協議会の 構成	
小学校等との 連絡調整窓口	(組織名) (住所) 〒 (電話) (ファックス) (E-mail) (担当者名)
市町の担当窓口	(所属名) (住所) 〒 (電話) (ファックス) (E-mail) (担当者名)

※受入地域協議会の規約等、及び安全管理に関するマニュアルを添付。

(素案の段階でもよいが（素案）と明記すること。)

2 受入内容に関すること

農地を活用した体験プログラム	体験プログラムの数	本	
	主たるプログラムの名称 (3本)	・ ・ ・	
上記以外の体験プログラム	体験プログラムの数	本	
	主たるプログラムの名称 (3本)	・ ・ ・	
ふるさと水と土指導員に関すること	■該当する人数を記載 ・ 委嘱済み 人 ・ 候補者 人		
農山漁村ふるさと体験が可能な宿泊施設の数と最大宿泊可能人数	開業済み	宿泊施設の数 A	戸
		最大宿泊可能人数 B	人
		1戸あたり定員 B/A	人
	開業予定	宿泊施設の数	戸
		最大宿泊可能人数	人
上記以外の主な宿泊施設の名称			

3 受入実績に関すること

区分	回数	延べ人数
日帰りでの体験ツアー受入 (一般)		
日帰りでの体験ツアー受入 (子ども・学生グループ)		
宿泊での体験ツアー受入 (一般)		
宿泊での体験ツアー受入 (子ども・学生グループ)		

※過去1年間の受入実績を記載。

4 事業実施の必要性

※今年度に予定している事業内容及びその必要性について記載

5 実施する予定の事業

6 今年度の受入予定

区分	回数	延べ人数
日帰りでの体験ツアー受入 (一般)		
日帰りでの体験ツアー受入 (子ども・学生グループ)		
宿泊での体験ツアー受入 (一般)		
宿泊での体験ツアー受入 (子ども・学生グループ)		